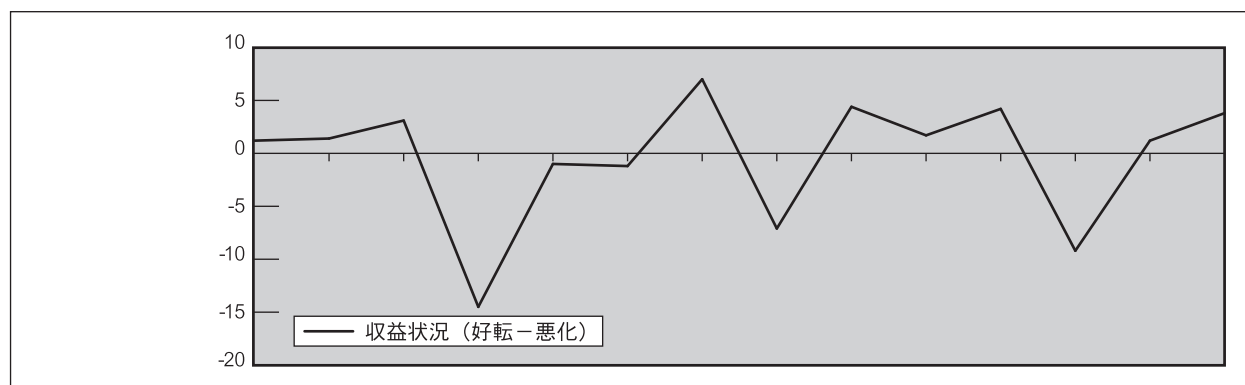


IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	16 年			17 年				18 年				19 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	19.0	22.1	22.4	17.7	19.7	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	18.7	16.3
横 ば い	63.3	57.1	58.3	50.1	59.6	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	63.9	71.3
悪 化	17.8	20.7	19.3	32.2	20.7	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	17.4	12.5
D . I .	1.2	1.4	3.1	-14.5	-1.0	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	1.2	3.8



好転理由

(%) 見込 予測

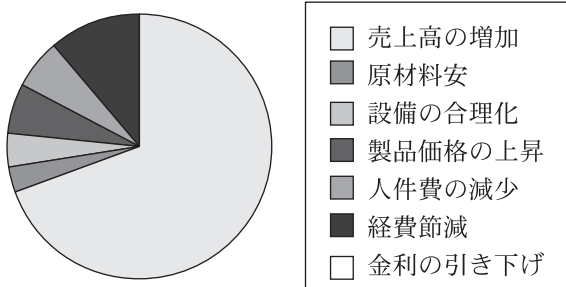
期別 種別	16 年			17 年				18 年				19 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	60.0	64.0	75.7	74.4	69.7	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	63.0	71.1
原 材 料 安	5.7	1.8	1.7	2.3	5.1	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	2.2	3.9
設備の合理化	5.7	1.8	2.6	4.7	0.0	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	2.2	3.9
製品価格の上昇	5.7	5.3	4.3	5.8	8.1	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	13.0	9.2
人件費の減少	6.7	7.9	4.3	3.5	2.0	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	6.5	1.3
経 費 節 減	15.2	17.5	11.3	9.3	15.2	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	13.0	10.5
金利の引き下げ	1.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

悪化理由

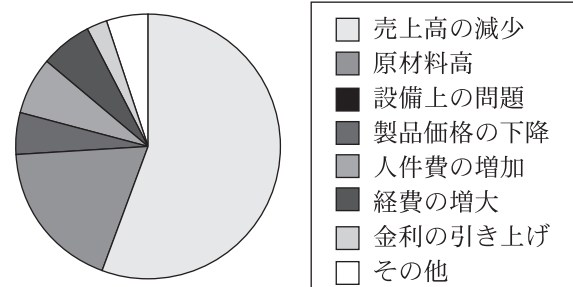
(%) 見込 予測

期別 種別	16 年			17 年				18 年				19 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	56.0	51.7	57.7	60.0	49.6	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	52.9	41.5
原 材 料 高	14.0	19.0	18.3	21.1	19.8	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	16.7	23.2
設備上の問題	2.0	0.0	0.0	0.6	1.7	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	0.0	0.0
製品価格の下降	13.0	12.9	14.4	7.4	9.1	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	3.9	6.1
経 費 の 増 大	2.0	8.6	4.8	7.4	10.7	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	6.9	7.3
人件費の増加	5.0	5.2	1.9	1.7	5.8	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	9.8	12.2
金利の引き上げ	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	3.9	4.9
そ の 他	7.0	2.6	2.9	1.8	2.5	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	5.9	4.9

好転理由



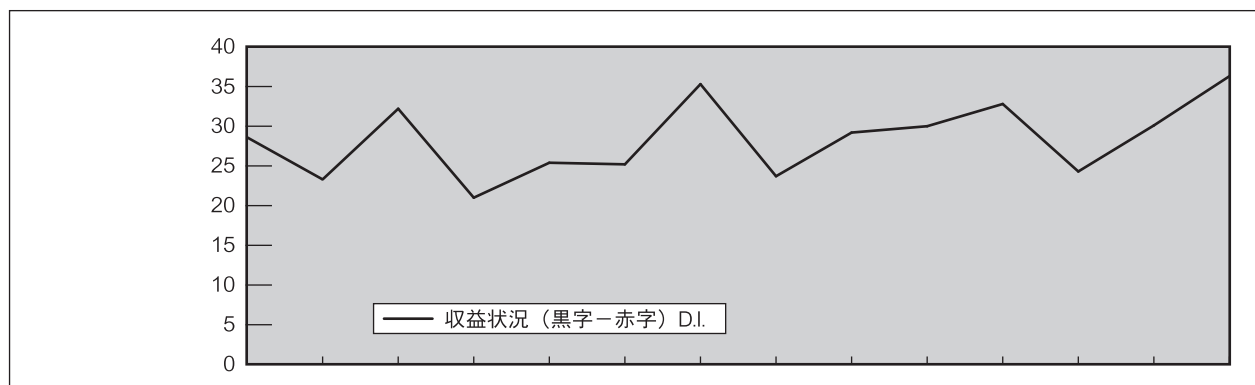
悪化理由



- (1) 1～3月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲9.2と前期比13.4ポイント悪化した。
 先行きについては、19年4～6月期D.I.は1.2と19年1～3月期実績より10.4ポイントの好転を見込んでいる。19年7～9月期予測でもプラス予測となっている。
- (2) 「収益状況が好転した」理由、1～3月期実績は、①売上高の増加69.4%、②経費節減11.2%となっている。順位は前回と変わっていないが製品価格の上昇が減少した。
 先行きでも、「売上高の増加」が大幅な理由としている。「経費節減」も依然高い理由となっている。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、1～3月期実績は、①売上高の減少55.7%、②原材料高18.4%となっている。
 「売上高の減少」は高い理由となり、増加してきている。「原材料高」はやや減少しており、原油高騰が起因する、素材高・燃料費の増大は一服感が感じられる。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	D.I. (%)													
	16年			17年				18年				19年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
黒字	43.8	44.7	48.2	43.3	44.8	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	42.1	44.9
収支トントン	41.1	34.0	35.8	34.5	35.7	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	45.9	46.6
償却後赤字	15.1	21.4	16.0	22.2	19.5	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	12.0	8.5
D.I.	28.6	23.3	32.2	21.0	25.4	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	30.1	36.3



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、18年4～6月期以降改善し、10～12月期は32.8となったが、19年1～3月期は24.3と8.3ポイント悪化した。
 例年1～3月期は悪化しており、季節的要因が考えられる。
 19年1～3月期実績では80.8%の企業が黒字もしくは収支トントンと回答しており、19年4～6月期見込では88%の企業が黒字もしくは収支トントンと見込んでいる。